

広告原稿データ入稿規定

2003年5月

(2007年2月一部修正)

大分合同新聞社 業務局

オンライン送稿のための広告原稿データ入稿規定について

大分合同新聞社では、より速く、より正確な広告データ入稿の実現のため、2003年4月からオンライン入稿を開始しました。入稿されたデータの加工等は一切行わず、そのままを紙面に掲載するという方法を取るようになります。そのためには、新聞印刷の規則や特性を理解していただき、ルールに沿って原稿制作していただく必要があります。

以下に入稿の規定等をまとめてありますので、制作された広告データがトラブルなく出力されるよう是非ご活用ください。

1. 対象広告

*モノクロ、カラーおよび、単色、多色対応の全面、記事下、雑報等。

2. 送信方法および内容

*EPS形式で保存されたイラストレータのデータファイルと、そのデータをもとに作成したPDFファイルの2つのデータを添付する。

(フォトショップデータを使用して作成した場合、画像の埋め込みを行うこと。写真データの添付不可)

*PDFファイルは原稿制作上のゲラとして使用。カラー広告については、色ゲラはカラープリンタで出力。より正確な色見本を必要とする場合は、別に持ち込むこと。

(その場合、色見本は5枚持ち込んでください)

3. 原稿制作上の留意点

*対応可能なOSは9まで。OSXは不可。

*対応ソフトウェアはイラストレータ(クォーク不可)。バージョンは8.01、9.02、10(それぞれアップデートしてください)

*フォトショップ写真データを使用している場合は、EPS形式で広告データ内に**埋め込む**。

*モノクロ広告はグレースケールで作成し、写真データもグレースケールに。

(表示上はグレーに見えるが、画像がCMYKの場合もあるので注意してください)

*単色広告(K+特色)の単色部分は原則としてC版で作成し、多色対応の単色部分はカラーモードCMYKで作成。(RGBになっている場合はCMYKに)

(単色の場合は必ず、単色面か多色対応面かを確認してください)

*原稿サイズについては別記。

* 使用フォントはすべて**アウトライン化**した 6 ポイント以上の文字を使用。罫線の太さは 0.06 ミリ (0.17 ポイント) 以上を使用。

* スクリーン線数はモノクロ 80lpi、カラーは 100lpi。

* 画像解像度は原寸でカラー、モノクロとも 200ppi 程度。ロゴ等は 1200ppi 程度。

* 原稿データ (EPS) 内にトンボ・掲載日等の原稿データ以外のものは入れないこと。範囲外にコピーしておいた文字が残っている場合があるので注意してください。(システム入力時に不要データまで読み取り、サイズが変わります)

* レイヤーは統合し、ロックはしないこと。

* 余分に余白を入れる場合は**バウンディングボックス**を設定してください。

* 外ケイがない広告データの場合は、ガイドラインでサイズを設定すること。

* 範囲外からはみ出ている配置画像等がある場合は、マスク処理をしてください。

* PDF ファイルは必ず最終データ (EPS) から作られたものを添付すること。

4. 原稿締切り

* モノクロ広告...掲載日前日の午後 2 時まで。

* 単色・カラー広告...掲載日の 3 日前を厳守 (土・日・祝を除く)
単色 (特色) については 4 日前までに色番号をご連絡ください。

5. 訂正

* 新聞社では字句等の訂正・写真データの加工は一切行わない。責任校正の上送稿の事。(訂正の場合は、訂正後再送してください。)

6. 在版原稿について

* データ送稿時に 2 回目以降の掲載日が決まっていれば、事前に連絡ください。

* 後日在版使用が決まった場合は、再度送り直しをしてください。

8. データチェック

* 送稿前にデータチェックとウィルスチェックを必ず行うこと。

ここに記載した送稿規定に関しては、今後変更する可能性があります。。

- 埋め込みについて -

画像データを埋め込むには2つの方法があります。

イラストレータ上に画像データを配置するとき「リンク」のチェックをはずして配置します(図1)。(図2は通常のリンク配置の場合)

図1



図2

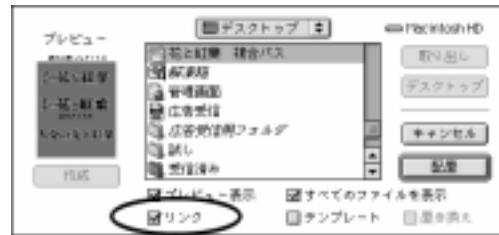
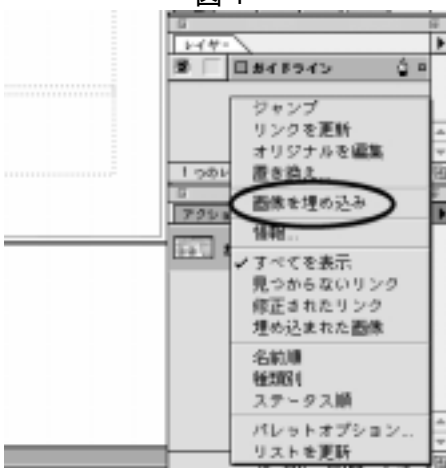


図3



すでに配置(リンク配置)された画像の一つ(または複数)を選択して、「リンク」のウィンドウ右上の矢印(図3)をクリックします。メニューから「画像を埋め込み」(図4)を選択してください。

図4



画像を埋め込むときは必ず実画像を埋め込んでください。アタリ画像を埋め込むと悪いデータのまま掲載されます。アタリ画像で制作を行ったときは、必ず実画像に置き換えてください。また、埋め込んだ後も画像データの置き換えや、削除を行うことができます。その場合は再度埋め込みを行ってください。

すべての画像データを埋め込んだら EPS 形式で保存(または別名で保存)を行ってください。

- 画像データ（フォトショップ）の扱いについて -

データ容量が不必要に重いと、制作そのものに時間がかかり、さらには圧縮、送稿等すべての作業に影響を与えます。下図に画像データ容量の目安を表示していますので参考にしてください。

データサイズについて（画像解像度カラー・モノクロともに 200ppi・イラレ Ver.8）

		リンク配置	1段あたり	埋め込み	1段あたり
379mm × 168mm（5段サイズ）	カラー	19MB	3.8MB	31.5MB	6.3MB
	モノクロ	3.8MB	760KB	8.2MB	1.6MB
379mm × 99mm（3段サイズ）	カラー	11MB	3.7MB	18.5MB	6.2MB
	モノクロ	2.2MB	730KB	4.8MB	1.6MB

図 5



またデータが重くなる原因として、実際に使用する範囲以外に余分なデータがある場合があげられます（図5）。スキャナ入力時に使用領域の設定を行うか、フォトショップ上でトリミングを行い、なるべく無駄のないデータを使用してください。

また、データの拡張は画像品質が劣化する原因となりますので、原寸で配置（埋め込み）を行ってください。フォトショップ上の画像解像度の設定画面で画像サイズも変更できます。

図 6



使用するフォトショップデータを保存する場合は必ず EPS 形式で保存してください。

「カラープロファイルの埋め込み」にはチェックを入れないでください（図6）。

EPS オプションの設定画面では、エンコーディングは「バイナリ」に設定してください。また、「ハーフトーンスクリーンを含める」以下のチェックはすべてはずしてください。

図 7



フォトショップデータの保存設定が正しくないと、制作イメージと実際の掲載が異なる場合や、イラストレータファイル上に、埋め込みできなくなることがあります。

- その他制作上のお願い -

レイヤーの統合とロックの解除

過去に、アウトラインを取っていない文字データが含まれているレイヤーがロックされていたため、RIP 処理するまで気がつかなかった例もあります。ロックは必ずはずしてください。またそのようなトラブルを防ぐためにもレイヤーの統合を行ってください。



図 10



図 11



図 12



図 13



外ケイのない広告データの制作

広告制作上、外側のケイを入れる場合(図 10)と入れない場合(図 11)があると思います。ケイがある場合はそのまま結構ですが、ケイを抜いて制作した場合に、何も指示がないと扁平がかかる場合(図 12)があります。これは、広告データの制作サイズが出力サイズに変えられてしまうためで、たとえば 5 段広告の出力寸法は天地 168mm 左右 379mm ですが、天地の寸法が足りない分は扁平がかかり引きのばされた状態になってしまいます。

制作した意図のとおり出力するためにはデータを取る位置にガイドラインを入れてください(図 13)。

ガイドラインの代わりに線幅 0 で透明なケイを入れてもデータとして認識しません。イラストレータ上ではオブジェクトとして認識しますが、弊社のシステムでは読み取れませんのでご注意ください。また、ガイドラインを使用した場合は送稿時にご連絡ください。

- PDF ファイル（出力確認ゲラ）の作成について -

これまでは広告原稿入稿時に出力ゲラを添付していただいていたのですが、オンライン送稿になると、ゲラを持ち込むことができなくなります。そのため、ゲラの代わりにして PDF ファイルを添付して送ってください。

図 14



PDF ファイルの作り方

最終保存（アウトライン作成済み）された EPS ファイルを「別名で保存」し、PDF ファイルを作成（図 14）してください。

まれに警告メッセージ（図 15）が表示され、PDF ファイルの書き出しができない場合があります。その場合は下図（図 16～18）に従って PDF ファイルの代わりに JPEG ファイルを作成してください。その場合、JPEG オプション画面で「画像」を「最高画質（低圧縮率）」で「画質 8」以上に設定してください。

図 15



asv

JPEG ファイルでは文字データ等のベクトル画像（asv）もすべて

asv

ピクセル（asv）で表示されるため、小さな文字の読み取りが困難になる場合がありますので、原則として PDF ファイルを添付してください。

図 16



図 17



図 18



- 圧縮について -

広告データを送稿するときに、データエラーを防ぐため圧縮する必要があります。下に圧縮ファイル（StuffIt 形式）作成の注意点を挙げていますので参考にしてください。

図 19 圧縮ファイルの階層図

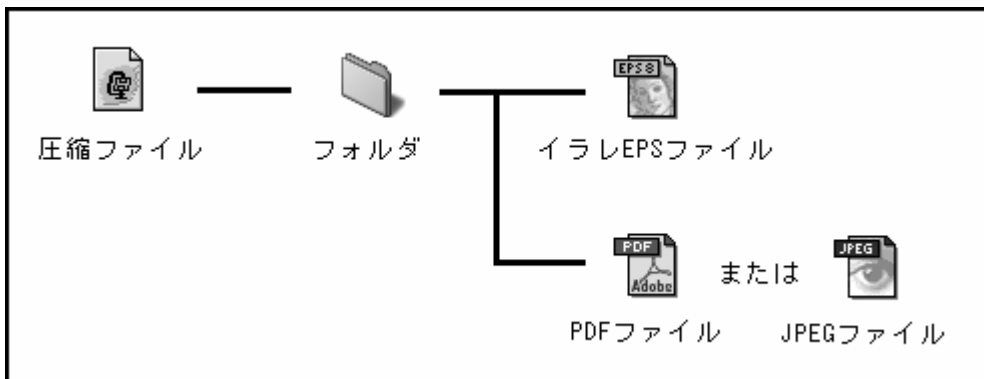


図 20



...StuffIt 形式の圧縮ファイル。ファイル名には英字または数字のみを使用（図 20 「Archive.sit」の部分）してください（漢字・ひらがなは文字化けするため使用できません）。また拡張子には「.sit」を使用してください。



...あらかじめ EPS ファイルと PDF ファイルをひとまとめにしたフォルダを作成してください。フォルダ名に必ず掲載日を入れてください「 / タイトル」。



...イラストレータ EPS ファイル（アイコンは Ver.8）。



...イラレ EPS ファイルから書き出した PDF ファイル（念校用データ）。



... " " JPEG ファイル（ " ）。

記事下原稿サイズ

段	タテ(mm)	ヨコ(mm)
1	31	379
2	65	〃
3	99	〃
4	133	〃
5	168	〃
6	202	〃
7	236	〃
8	271	〃
9	305	〃
10	339	〃
11	374	〃
12	408	〃
13	442	〃
14	477	〃
15	511(ケイ有)	379(ケイ有)
	515(ケイ無)	382(ケイ無)
30	511(ケイ有)	785.5(ケイ有)
	515(ケイ無)	789.5(ケイ無)

割り	サイズ(mm)
1/2	188
1/3	125
1/4	93
1/5	74
1/6	62
1/7	53
1/8	46

雑報広告サイズ

		タテ	ヨコ
1面題字下		2d ×	38mm
ローカル題字下		1d ×	55mm
テレビ面Gコード		10mm ×	125mm
ラテ横	(朝刊)	4d ×	32mm
	(夕刊)	44mm ×	32mm